

◎「E-NEXCO LODGE 長者原SA店」の周辺環境

○地理など

- ・「E-NEXCO LODGE 長者原SA店」のある宮城県大崎市は、宮城県の北西部に位置し、県都である仙台市の北約40km、東北自動車道を利用すると50分(宮城県庁から大崎市役所までの順調時所要時間)ほどで着きます。
- ・大崎平野は日本有数の穀倉地帯で、昭和38年に古川農業試験場で生まれた「ササニシキ」をはじめ、「ひとめぼれ」、新ブランド米「ささ結」が特に有名です。この地域の農地は「大崎耕土」と称され、持続可能な水田システムは「世界農業遺産」に認定されています。
- ・また伊達政宗公が仙台に城を移すまでの12年間居城とした岩出山城や現存する日本最古の学問所である有備館などがあります。



世界農業遺産「大崎耕土」イメージ



有備館



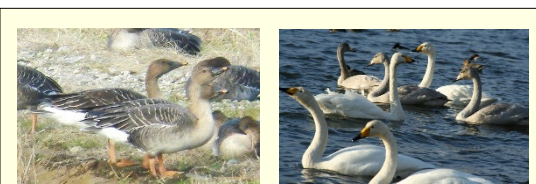
○観光施設

[ラムサール条約湿地]

- ・大崎市には、野鳥の楽園として知られる観察ポイントがたくさんあります。「E-NEXCO LODGE 長者原SA店」に隣接する 化女沼^{けじょぬま}(平成20年ラムサール条約湿地に認定)は、夏にはヒシやハス、マカモ、菖蒲といった大型の水草を始めとする多種多様な植物が生え、この上をチョウトンボが舞い飛ぶ姿が見られます。また、亜種ヒシクイやマガン、オオハクチョウなどが飛来、越冬し、その様子は長者原SA内の展望地からも見られます。
- ・大崎市北部の田尻地区に広がる蕪栗沼(平成17年ラムサール条約湿地に認定)は面積約100ヘクタール、北上川の自然堤防と丘陵に囲まれた低地性湿地で、秋から冬にかけて約10万羽の渡り鳥が飛来します。特に白鳥やガン類の越冬数が多く、冬の朝、数万羽のマガンが地響きのような音をたてて舞い上がり、空一面を覆い尽くす景色には誰もが圧倒されます。



化女沼 野鳥のねぐら入り



亜種ヒシクイ

オオハクチョウ



ヒシ

ハス

ニッコウキスゲ

【温泉・渓谷】

- ・鳴子こけしでも有名な鳴子温泉を含む日本有数の名湯が揃う鳴子温泉群(鳴子・東鳴子・川渡・鬼首・中山平)は、日本にある源泉11種のうち9種類が集まり、多彩な泉質と効能を有するのも特徴の1つです。これらの温泉の旅館や共同浴場で使える「湯めぐりチケット」を使えば、お得に満喫できます。
- ・鳴子温泉の近くにある鳴子峡は、高さ100mほどの断崖絶壁が約2.6kmにわたって続く大峡谷で、新緑や紅葉の美しい峡谷美が楽しめます。鳴子峡から俳人・松尾芭蕉などが歩んだ奥の細道と通り足湯のある鳴子温泉駅までの「オルレ(トレッキングコース)」が設定されており、自然を身に感じ、自分なりのペースで壮大な風景や由緒正しい温泉、長い間築いてきた文化や歴史を五感で感じることができます。



鳴子峡 紅葉



宮城オルレ 大崎・鳴子温泉コース

「食・イベント」

- ・「粘りが少なく、あっさりとした食感」が和食や寿司等に相性がよいとされ職人たちから愛されているササニシキは大崎市が誕生の地です。ここでは‘やませ’による冷害や洪水、渇水が頻発する厳しい自然条件の中、米づくりを中心として水田農業により豊饒の大地「大崎耕土」を継承してきました。ササニシキは、寒さに弱いという弱点から大きく作付面積が減りましたが、ササニシキ復活を望む声からこの弱点を補完した後継品種の開発がすすめられ、新ブランド米「ささ結」が誕生しました。市内には、こだわりの料理とともに「ささ結」を提供する飲食店があります。
- ・市南部の三本木地区の「斉田ひまわりの丘」は、毎年夏になると6ヘクタールの敷地に約42万本のひまわりが咲き誇る中、「ひまわり祭り」が開催されます。また、秋には市北西部の岩出山地区で30機以上の熱気球が全国から集まり、秋空を色鮮やかに彩る「岩出山バルーンフェスティバル」が開催されます。



新ブランド米 ささ結



岩出山 バルーンフェスティバル

「E-NEXCO LODGE 長者原SA店」がオープンする大崎市には、自然豊かで多彩な観光施設が多数あります。

【大崎市の観光情報「大崎観光アプリ」】

・大崎市のイベントや温泉、食といった旬な情報をはじめ、観光地360度ビューアなど、見て楽しめる機能があります。

⇒Google Play、App Storeで、[大崎観光アプリ](#)

検索